

喜界町

図書館だより

3月号



【通算 第261号】
2018（平成30）年3月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL：0997-65-0962
FAX：0997-65-2523
e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からの
プレゼント!

（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が絵本を介して、ゆっく
りと心ふれあうひとときをもつ、きっかけづ
くりのお手伝いをしています。（対象児には案内
状を配布しています。図書館のカウンターで受け取っ
てください。ご来館をお待ちしています。）

==== 「西郷隆盛：（西郷どん）」と「村田新八」 =====

明治維新150周年の年明けから始まったNHK大河ドラマ「西郷（せご）どん」。西郷隆盛と、彼と共に生きた人々を描く物語だ。ドラマだけに史実と違うところもある。（「西郷どん」の時代考証担当 原口 泉 県立図書館長）

「こげな人じゃなか」。東京・上野での西郷の銅像の除幕式で西郷の妻・糸（西郷の3番目の妻・西郷と16歳ほど差がある）はそう言った。この有名なエピソードは、今回のドラマの冒頭シーンにもなった。この事実から、銅像の顔が西郷に似ていないという説が広まっていた。だが糸は後に、「（西郷が）あげんぶざまななりで人前に出なさることはなかった」とよく語っていたという。西郷が人前で着流し姿を見せるような失礼な人ではないと言いたかったのだろう。

また、村田新八は1862年（文久2年）6月10日、島津久光の心証（しんしょう：心にうける印象）をそこね遠島を申しつけられた。新八は喜界島に流される船旅の模様を「宇留満の日記」（『黎明館調査研究報告 第一集』塩満郁夫）に書き残しているが、それによると6月14日に白山丸で西郷とは別船で山川港を出帆し、18日を要し、7月2日午前10時頃喜界島へ着いたとある。それから1年8ヶ月、喜界島に滞在した。喜界島にはその記録や文書等は残っていないが、喜界島滞在中に、兄高橋新助に送った手紙で喜界島での生活や当時の喜界島の状況を窺（うかが）い知ることができる。

新八は最初代官書役（かきやく：文書の草案を作ったり筆写したりする役。ものかき。書記）の政円宅に寓居（ぐうきょ：かりずまい。かりに身を寄せている住居）し、次に柳勇憲宅に引っ越し、最後に現在記念碑の建っている貴島桃山宅に移り住んだ。

ところで、村田新八修養之地の碑は喜界小学校へ通じる道路の校門から百メートル手前右側に貴島家があり、貴島家へ入ってすぐ左側に9平方メートルほどの築山風に盛られた土の上に碑は建っている。正面中央に「村田新八修養之地」、左に「公爵島津忠重書」の文字が刻み込まれ、背面に貴島桃隆、藤原龍憲、平岡禎元、湾校一同と建立者の名前が刻まれている。貴島・藤原・平岡の三氏が経費を負担し、湾小後援会が労力を提供して建立したという。

1864年（元治元）年2月、西郷と新八は罪を許された、2月26日、新八は沖永良部から合流した西郷と一緒に喜界島を出発して28日鹿児島に上陸している。

新八の喜界島での子弟教育は、当時の若者に大きな影響を与えたのであろう。伊実久の前田盛秀（17歳）は新八に従い西南戦争に従軍、熊本の田原坂で戦死している。（山田尚二「流人村田新八の喜界島からの手紙」『奄美郷土研究会報』23号）。

【文責：登山 典壽】【参考文献：2018年1月10日南海日日新聞 2018年1月27日朝日新聞 平成12年喜界町誌】

図書館からの
おしらせ

※蔵書点検作業が終了しました。

2月20日から（火）から3月1日（木）まで10日間の蔵書点検作業では、利用者の皆様大変不自由をおかけ致しました。

おかげさまで滞りなく点検を終えることが出来ました。3月2日から通常貸出になります。どうぞ御利用下さい。

<蔵書点検冊数：6冊、547冊>

～会員の皆様へ～

第7回「喜界島ゆかりの文学を楽しむ会」

- ・日時：3月18日（日）10：30～
- ・場所：図書館2階
- ・内容・テーマ：安達征一郎著「小さな島の小さな物語」

『あかちゃんおはなし会』

日時：毎月第一金曜日 午前11時より
0～2歳児の赤ちゃんと保護者に読み聞かせや手遊びなどをして楽しんでいます。
どうぞ、お気軽に参加して下さい。

2018(平成30)年度 読書マラソン

- ◎ 読書マラソンは貸出カードを持っている方、全員参加になります。（100冊増えるごとに1冊増借られます。）
- ◎ 期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

※ 本が未返却の方へ※

- ◎ 返却期日が過ぎている本を持っている方、早めの返却をお願いします。
破れた本は、受付カウンターに返して下さい。



新 着 図 書



《おとなの本》

《子どもの本》

『英龍伝』佐々木 譲著 毎日新聞出版

開国か、戦争か。早くから「黒船来航」を予見し、海防強化を訴え続けた異能の行政官・江川太郎左衛門英龍。その不屈の生涯を描く。「くろふね」「武揚伝」に連なる幕末3部作、完結。

『ハリケーン HURRICANE』高嶋哲夫著 幻冬舎

連続発生する台風、記録的豪雨と暴風、地盤の変容、急増する土砂崩れ…。自然の猛威に翻弄される気象予報官の焦燥と葛藤を描いたサスペンス大作。

『コルトM1847羽衣』月村了衛著 文藝春秋

“羽衣”の異名を持つ女渡世人・お炎は、想い人を探すため、最新式六連発銃・コルトM1847を片手に佐渡へと渡る。しかし佐渡の金山には、奇怪な像を信仰する邪教が広がっていて…。時代長編。

※『ゴーフォワード！ 桜木学院高校ラグビー部の熱闘』花形みつる著 ポプラ社

※『牛天神』山本一力著 文藝春秋

※『ゼロからはじめる！脱サラ農業の教科書』

田中康晃著 同文館出版

ほか多数

『レモンの図書室』ジョー・コットリル作 杉田七重訳 小学館

母親を亡くしたカリブソは、ひとりぼっちで本の世界に入り込んでいった。ある日、本好きな転校生メイがやってきて…。本でつちかった豊かな想像力と、篤い友情を武器に困難と戦う少女の姿を描く。

『じてんしゃのれるかな』平田利之作 あかね書房

ぼくは、自転車に乗れない。これからまた練習なんだけど、ちょっとこわい。すると「へいき、へいき」と、だれかの声がして…。自転車に乗れない子どもたちに贈りたい、3色印刷が味わい深い絵本。

『マフィー&ジオ空とぶレシビ』伊藤正道絵 石津ちひろ文 BL出版

白いひげのジオじいさんと、友だちのマフィーくんが、時空をこえ世界じゅうの空をとんで、おいしい旅にでかけます。

シュークリームをの山をこえ、アフタヌーンティーでひと休み…。おいしいものが次々登場する絵本。

※『だるまちゃんとキジムナちゃん』加古里子 さく／え

福音館書店

ほか多数



1月の貸出ベストリーダー3



一般図書				児童図書			雑誌	
1	道標 (東京湾臨海署安積班)	今野 敏／著	物語	1	かちかちやま	絵本	1	Newton 16年07月号
2	橘花抄	葉室 麟／著	物語		橋本左内 (コミック版日本の歴史54)	歴史		Newton 16年09月号
3	荒海を渡る鉄の船	鳥羽 亮／著	物語		バーバパパのしまづくり	絵本		ひよこクラブ
	遺訓	佐藤賢一／著	物語		バーバパパのだいサーカス	絵本		文藝春秋

3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
2/25	2/26	2/27	2/28	1	2	3
	休館日			資料 休館日	あかちゃん おはなし会	おはなし 会
4	5	6	7	8	9	10
	休館日				子育て支援 来館	おはなし 会
11	12	13	14	15	16	17
	休館日		団体貸出回収 (あゆみ・のぞみ幼稚園) 15日⇒	団体貸出 (各保・てくてく・子支援・早小・学童)		おはなし 会
18	19	20	21	22	23	24
第7回喜界島ゆかりの文学を楽しむ会	休館日	移動図書貸出回収 (早町小学校全学年)				おはなし 会
25	26	27	28	29	30	31
	休館日					特別 おはなし 会

※ は、休館日です

(毎週月曜日・第1木曜日)

・開館時間 午前10時～午後6時

1月統計	貸出冊数	H29年度合計
	5,298 冊	46,028 冊
開館日数 (23日)	来館者数	H29年度合計
	1,397 名	15,698 名

おはなし会・ミニ映画

毎週土曜日 午後2時～2時40分

おはなし・読み聞かせ

ミニアニメを上映しています。

月末の土曜日は 特別おはなし会

今月のテーマは来館しての

お楽しみ！！

